

宮崎ロータリークラブ週報

no. 16 | 発行 | 2023年10月31日 | 担当 | 藤枝 浩



■ 前回の例会記録

第3402回 2023年10月24日(火)

【ゲスト卓話】
宮崎県人権啓発センター
人権啓発専門員 田原 新一 様
「アイコンシャス・バイアスと人権」

出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	105名
例会出席会員数	70名
同上出席率	67.31%

■ 今回の例会予定

第3403回 2023年10月31日(火)

【ゲスト卓話】
(株)ダンロップスポーツエンタープライズ
取締役 トーナメント事業部事業部長 亀井 秀和 様
「ダンロップフェニックストーナメント50年の歴史」

■ 次回の例会予定

第3404回 2023年11月7日(火)

池ノ上ガバナー公式訪問例会
(クラブフォーラム)

* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

■ 幹事報告

- 配布物
・週報No.13,14 ・職業奉仕賞について
- 地区大会、コロキウムのお礼
- ホームページミニコラムの更新について
- 31日例会会場は2階に変更
- 10月24日 地区職業奉仕委員会研修会開催 川崎委員長 同日、九州4地区合同公共イメージ向上事業としてポリオの募金活動が行われます。
- 青少年奉仕、ローアクト委員会、ローターアクトメンバーが参加
- 池ノ上ガバナーの動き
23日 宮崎南 寺坂・寺原会員
24日 宮崎アカデミー 長友剛・佐藤嘉信会員
25日 佐土原 松崎裕介・長友あい会員
26日 高鍋 内村彰・岩切崇徳会員
27日 宮崎西 佐藤嘉信・廣川拓也・河東会員 が随行

■ ビジター会員



第47代会長
定永 正明 名誉会員

■ 新会員入会式



有限会社 赤玉商事
代表取締役
川越 英和 会員



Happy Box
内村 彰 会員

先日の地区大会と同時期に開催されていた「九州・沖縄高等学校ゴルフ選手権 新人戦大会」において、日章学園高等学校ゴルフ部に所属する次男の優作(高1)が団体メンバーとして見事団体優勝を果たすことが出来ました。2連覇です!

後日、地区大会開催の記事が宮崎日日新聞に掲載されましたが、この試合の結果も同じ日に掲載されダブルのHappyにひたった次第です。

以下参考資料 2023年(令和5年)10月15日(日)宮崎日日新聞



Happy Box
地区幹事 佐藤 嘉信 会員

先般開催されました地区大会は、宮崎RCの皆様の絶大なご支援により大成功を収めました。パストガバナーのお一人が「近來まれにみる素晴らしい大会だった」と仰ったようです。皆様のご尽力に感謝してHappyします。

■ 会長の時間



会長卓話
岡本 俊則 会長

皆様こんにちは、まずは、一週空きましたが地区大会大変お疲れ様でございました。

お陰様で大変なく終了する事が出来ました。開催中に何度も同じ事を感じる場面がありました。それは、会員一人一人がホストとして、参加者と対峙している場面です。「本当にみんながこの大会を支えている」と感じていました。各々がおもてなしの心を持ち、その気持ちが自然と表情に表れていて参加された皆様が心地よい「お出迎えやお見送り」を体感されていると感じました。現に色々な方々からお褒めの言葉を沢山頂戴致しました。そのほとんどは我がクラブのメンバーが参加者の皆様に対し向き合う姿勢の話でした。

しっかりと管理をされたスケジュールに基づき、心のこもったおもてなしであったとのこと、本当に気持ちの良い大会だったとの「声」が多く寄せられました。

コロナ禍の数年を経て、久しぶりにクラブが一丸となった達成感を味わうことが出来ました。この大会の開催にあたりご尽力を頂きました川越宏樹実行委員長をはじめとする実行委員のメンバーの方々には心より御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

また、来訪クラブの方々から沢山のお礼文等を頂戴致しました。対応いただきましたフレンドシップ委員会山本正幸委員長他メンバーの皆さん本当にありがとうございました。

そして、大会終了後間髪を入れず(先週の土曜日)に開催されましたRI第2730地区:社会奉仕委員会主催の「海岸美化プロジェクト」では懸命に池ノ上ガバナーをサポートしようとする藺田有美幹事の訴えにクラブの沢山の方々が気持ちで応え、会場を埋めて下さったとの報告を出張先で受け取りLINEの写真見ながら胸が熱くなりました。

少しずつではありますが、私が目指す「居心地が良く・楽しい」宮崎ロータリークラブ像に近づいていると実感をしています。

あと数日で今月も終わります。本当にあっ!と言う間の4ヶ月でしたが、皆様にはこれから益々、例会や委員会・親睦会を通じて横の繋がりを広げていただきたいと思います。12月の例会にて1回目の開催を予定している「持ち味を「知る・学ぶ」」委員会の事業において、自クラブのこともっとよく知ってもらい、今後のビジョンやクラブとしてのあり方などを考える苗床にしていきたいと思います。

宮崎ロータリークラブに古くから伝わる大切なことを「知り、学んだ」うえで個々のビジョンに反映をして頂きたいと考えています。共有できる「素材の分母」は出来るだけ大きくあって欲しいと思いますし、その上での多様性が、今、我々に求められていると感じています。今後は、会員の皆様方と共にこれからも更に宮崎ロータリークラブがより良いものになる様に考え行動をしていきたいです。「One for all, All for one」です。本日の会長卓話は以上で終わります。ご静聴ありがとうございました。

■ ゲスト卓話



「アイコンシャス・バイアスと人権」
宮崎県人権啓発センター
人権啓発専門員 田原 新一 様

アンコンシャス・バイアスとは、自分自身では気づいていない「ものの見方や捉え方の歪みや偏り」のことで、無意識の思い込み(偏見)と呼ばれます。

そして、それは、その人の過去の経験や知識、価値観、信条等をベースに認知や判断を自動的にを行い、何気ない発言や行動として現れます。

したがって、アンコンシャス・バイアスは誰にでもあるものであり、良いとか、悪いとかいうものではありません。

脳は瞬時に物事と物事を無意識に紐付け、素早く理解し、行動しようとする。つまり、アンコンシャス・バイアスは脳の「高速思考」とも言えます。

そのため、そのベースとなった知識や情報が偏っていたり、思い込みによるものであったりしても、それを修正することができません。

このことから、例えば「夫は外で働き、妻は家庭を守る」というアンコンシャス・バイアスが「育児休暇は女性がとるもの」という偏見につながり、結果、「男性の育児休暇取得を認めない」といったハラスメントや差別などの人権侵害を生じさせることがあります。

特に、職場においては、例えば「子育て中の女性には出張は無理」といったアンコンシャス・バイアスがあると、「子育て中の女性には担当者であっても出張させない」という判断となって現れ、結果、その女性職員のやる気を阻害することとなり、その不満が人間関係の悪化など職場全体にも好ましくない影響を与えかねません。

アンコンシャス・バイアスの恐ろしいところは「無意識に行われている」ところです。無意識だから自分では気づかない、気づかないから、繰り返してしまうし、修正できません。しかし、気づくことができれば、繰り返してしまう可能性が下がるし、修正できます。



つまり、気づくことにより、職場におけるアンコンシャス・バイアスの悪影響を防止することができるのです。

自分の中のアンコンシャス・バイアスに気づくために、一人ひとりが自らの言動に「これって、アンコンシャス・バイアス?」と問いかけ、また、職場では、自分や相手の中にあるアンコンシャス・バイアスを伝え合ひましょう!

そして、ハラスメントなどの人権侵害のない職場、ひいてはすべての人の人権が尊重される社会の実現を目指していきましょう!

1

人権出前講座
宮崎ロータリークラブ 様
令和 5年10月24日

アンコンシャス・バイアスと人権

宮崎県人権同和

2

1 自分の 思い込みに 気づこう!

3

アンコンシャス・バイアスとは

- 自分自身では気づいていない「ものの見方や捉え方の歪みや偏り」のことで、「無意識の思い込み(偏見)」と呼ばれます。
- その人の過去の経験や知識、価値観、信念等をベースに認知や判断を自動的に行い、何気ない発言や行動として現れます。

例) 「この人は〇〇だから□□だろう。」
「ふつう〇〇だったら、□□だろう。」

4

例：この人は〇〇だから□□だろう。

消防士 看護師 社長

5

例：ふつう〇〇だったら、□□だろう。

- ・夫は外で働き、妻は家庭を守るべきものだ。
- ・男は男らしく、女は女らしく振る舞うのが当然だ。
- ・子どもは親や先生に口答えするものではない。
- ・高齢者は若い人に出番を譲り、控えめに振る舞うべきだ。
- ・障がいのある人には何事も手助けしてやるべきだ。
- ・外国人は、自己主張が強く、日本のルールを守らない。
- ・血液型がA型の人は几帳面だ。

6

アンコンシャス・バイアスがハラスメント、差別へ

アンコンシャス・バイアス

男は仕事、女は家庭 障がいのある人はできることに制限がある 外国人は自己主張が強い

↓

偏見(偏った否定的な決めつけ)

育児休暇は女性が取るもの 障がいのある人は手間がかかる 外国人はルールを守らない

↓

差別・ハラスメント⇒人権侵害

男性の育児休暇取得を認めない 障がいのある人の入店を拒否する 外国人には部屋を貸さない

7

アンコンシャス・バイアスから様々な人権問題(人権侵害)が引き起こされています

- 女性 同和問題 犯罪被害者等
- 子ども 外国人 インターネットによる人権侵害
- 高齢者 HIV感染者・ハンセン病患者等 性的少数者
- 障がいのある人 刑を終えて出所した人 その他
- 北朝鮮当局による拉致問題等

8

2 職場における アンコンシャス ・バイアス

9

職場でよくあるアンコンシャスバイアス

- ・子育て中の女性には出張は無理
 - ↓ 子育て中の女性には担当者であっても出張をさせない
- ・男性が残業をするのは仕方がない
 - ↓ 残業を頼むときに男性だけに声をかける
- ・シニア世代はパソコンが苦手
 - ↓ パソコンを扱う仕事は若い人に頼む
- ・女性は仕事より家庭を重視するものだ
 - ↓ 女性には重要な仕事を任せない
- ・お茶出しは女性がやるものと決まっている
 - ↓ 近くに男性がいても遠くの女性にお茶出しを頼む



10

アンコンシャス・バイアスの悪影響

個人への影響	職場への影響
やる気がなくなる 自分を過大・過小評価する ネガティブになりがちになる イライラが増える 言い訳が増える 挑戦できなくなる 成長の機会を失う 遠慮がちになる	人間関係が悪化する 職場の雰囲気が悪くなる 風通しがいい対話なくなる コンプライアンス違反が起こる 多様性が推進されない ハラスメントが起こる イノベーションが生まれにくくなる

11

無意識の恐ろしさ

気づかない 気づく

気づかない

- ・繰り返してしまう
- ・修正できない
- ・謝らない

→

気づく

- ・再度やってしまう可能性が下がる
- ・再度やっても迅速に気づく
- ・修正できる
- ・謝れる

12

3 アンコンシャス・バイ アスへの対処法

13

対処法1

自分のアンコンシャス・バイアスに気づく

自分の中にあるアンコンシャス・バイアスを言語化する

- ・「これって、私のアンコンシャス・バイアス?」
- ・「これって、本当?それとも思い込み?」
- ・「これって、事実?それとも解釈?」

14

対処法2

職場内で持続的にアンコンシャス・バイアスに関する話し合いを行い、その成果を日々の業務に生かしましょう!

- ・自分や相手の中にある「思い込み」や「決めつけ」を伝え合う。
- ・「アンコン」を職場の共通言語にする。
- ・相手を変えようとするのではなく、自らが変わる。

15

ご静聴ありがとうございます
ございました

皆様のこれからのご活躍を心から祈っています

8月は「人権啓発強調月間」
12月4日～10日は「人権週間」です。

令和5年度宮崎県人権啓発ポスター

宮崎県人権啓発センター

〒880-8501 宮崎市橋通東2-10-1 県庁8号館6階
TEL.0985-32-4469 FAX.0985-32-4454
人権相談専用電話：0985-26-0238

- Eメール(人権同和対策課)：
jinkendowataisaku@pref.miyazaki.lg.jp
- ホームページ http://www.m-jinken.jp/

●開館時間/9:00~17:00
●休館日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始

当センターはだれでも自由にご利用できます。(無料)
ただし、研修室の利用については、事前の予約が必要です。
※予約の手続きについてはセンター受付までお尋ねください。

池ノ上ガバナー 公式訪問 (今週の予定)

10/30(月) 宮崎東	●随行者/ 吉田博俊、寺原一種
10/31(火) 西都	●随行者/ 寺坂文博、安藤公一
11/1(水) 宮崎北	●随行者/ 佐藤嘉信、廣川拓也
11/2(木) 宮崎中央	●随行者/ 黒木勇人、長友岳夫

Rotary
第2730地区

宮崎ロータリークラブ

本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標

- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
- ②池ノ上ガバナーの活動支援
- ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
- ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
- ⑤例会出席率90%以上の確保
- ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
- ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

<会長> 岡本 俊則
<副会長> 藺田 潤子
<幹事> 藺田 有美
<会報委員会> 福松 修一郎

■例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)



日本の
ひなた
宮崎県